

4 中期財政計画の検証

☆ 目標1：普通会計で市債残高120億円以上圧縮

達成

【H26 決算比】

市債発行額の抑制と元金ベースのプライマリーバランスの黒字化を図ることにより、将来の負担となる負債を可能な限り抑え、持続可能な財政運営を実現する。

市債残高（普通会計）

- ・ 29 年度末見込額 1,855 億 3,600 万円（対計画値 2 億 2,700 万円の減）
（H29 末計画値 1,857 億 6,300 万円）

※ 普通会計 … 一般会計・5 特別会計（公営住宅建設資金・公園墓地・用地取得・母子父子寡婦福祉資金・公債管理（普通会計分のみ））

※ 基準となる H26 末決算 1,993 億 6,500 万円に対し、138 億 2,900 万円の減となる。

※ 市債残高は、旧宮崎公立大学事務組合債の承継分（H29 末残高見込 2 億 2,500 万円）を含む。

<参 考>

- ・ 市債発行額
普通会計 149 億 600 万円（一般会計 147 億 200 万円）
- ・ 元金償還額
普通会計 193 億 6,900 万円（一般会計 186 億 9,000 万円）

☆ 目標2：財政5基金残高200億円以上の確保

達成

経費を抑制するとともに、財源の確保に努めることで、基金の取崩しを最低限に抑え、自前の財源確保による財政の自立性及び緊急時への対応を図る。

財政5基金残高

- ・ 29 年度末見込額 271 億 7,100 万円（対計画値 2 億 4,600 万円の減）
（H29 末計画値 274 億 1,700 万円）

※ 財政5基金 … 財政調整基金・財源対策債等償還基金・公共施設整備等基金・地域振興基金・土地開発基金

<参 考>

財政対策基金取崩額

- ・ H29 予算額 0 億円
(H29 計画値 0 億円)

☆ 目標3：歳入歳出改革による一般財源の確保・削減（13億円）
を目指す

（一般財源ベース）【H26 予算比：3か年の合計】

達成

地方交付税の合併算定替縮減に対応するため、歳入歳出一体となった改革を行う。

※ 歳入歳出改革により、今後、確保・削減できる一般財源額の合計。

※ 基準となるH26当初予算から、合計で14億9,700万円の確保・削減となる。

- ・ 29年度確保・削減額 8億9,000万円（対計画値 9,000万円の増）
(H29 計画値 8 億円)

歳入改革（3億5,400万円）

- | | |
|---------------------|---------------|
| ・ 市税の収納率向上(現年分)による増 | 約 1億3,800万円の増 |
| ・ 宮崎ふるさと愛寄附金の受入増 | 約 1億9,500万円の増 |
| ・ 使用料・手数料の適正化等による増 | 2,100万円の増 |

歳出改革（5億3,600万円）

- | | |
|----------------------|---------------|
| ・ 事業評価を活用した事業内容見直しなど | 約 4億4,900万円の減 |
| ・ 公共施設の廃止等による管理費等の削減 | 約 3,800万円の減 |
| ・ 業務の民間委託などによる節減効果 | 約 4,900万円の減 |

<参 考>

- ・ H27 確保・削減額 1億3,800万円
- ・ H28 確保・削減額 4億6,900万円
- ・ H29 確保・削減額 8億9,000万円

計： 14億9,700万円